

キヨズミオオクジャク

Dryopteris namegatae Kurata

オシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

分布域が広いが個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎は太く、葉を叢生する。単羽状複生で、葉身は中央で幅が最大となり、下部で狭まる。イワヘゴに似て葉柄や中軸の鱗片が黒くてかたい。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

中能登区、口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

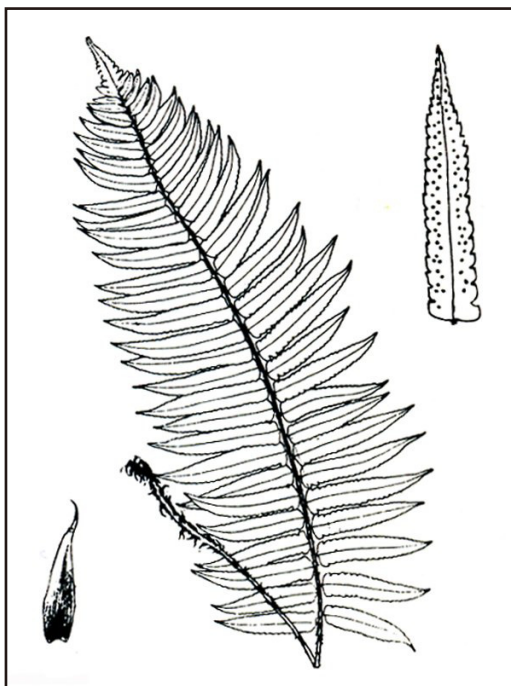
常緑生の地表植物で、繁殖は孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

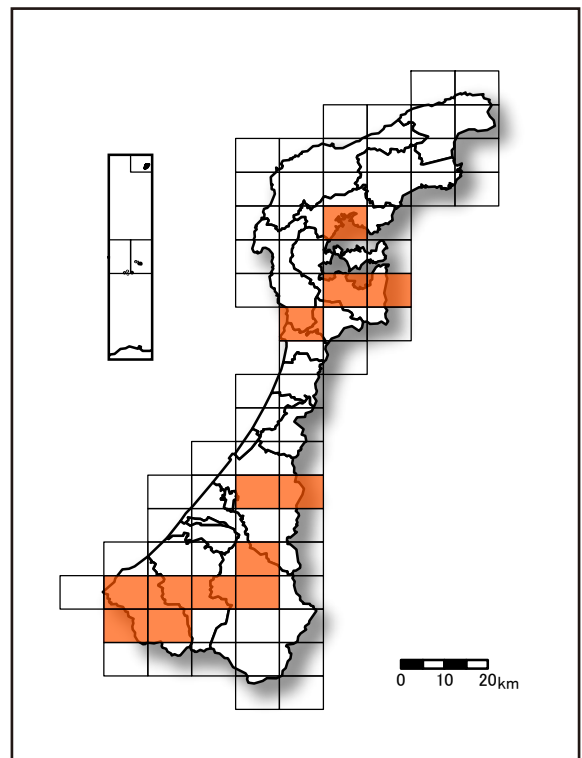
低地の樹林下の陰湿な場所に生育する。

危険要因

森林伐採。



小牧（1987）より引用



県内の分布